

学術年会

第14回日本免疫毒性学会学術大会講演一覧

2007.9.20-21. 兵庫県民会館大ホール

年会長：吉野伸（帝神戸薬科大学）

特別講演

トキシコゲノミクスプロジェクトデータベース (TG-GATEs) を用いた肝毒性の予測	漆谷徹郎(1,2)	(1)同志社女子大学薬学部病態生理学(2) (独) 医薬基盤研究所トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト
---	-----------	--

招聘講演 1

肥満細胞とKIT受容体チロシンキナーゼ	北村幸彦(1,2)	(1)塩野義製薬新薬研究所(2)大阪大学名誉教授
---------------------	-----------	--------------------------

招聘講演2

Drug Induced Allergy	Edith Sin	Department of Pharmacology, University of Oxford, UK.
----------------------	-----------	---

シンポジウム

生殖免疫毒性	オーガ ナーザ —	中村和市 Kenneth L. Hastings	塩野義製薬新薬研究所 FDA, USA
--------	--------------	-----------------------------	------------------------

母体脱落膜における特異的免疫機構	中村織江	地方独立行政法人大阪府立病院機構 母子保健総合医療センター研究所
------------------	------	-------------------------------------

Ontogeny and Post-Natal development of the rodent immune system	Hayssam Khail	Charles River Laboratories, Preclinical Services, Immunology (CANADA)
---	---------------	---

Immune system development in the primate	Gerhard F. Weinbauer	Werner Frings, Antje Fuchs, Eberhard Buse, Covance Laboratories GmbH
--	----------------------	--

Developmental Immunotoxicity and Critical Windows of Exposure for Children's Health	Rodney R. Dietert	Department of Microbiology and Immunology, Cornell University, Ithaca, NY 14883 and Director of Developmental Immunotoxicology, Burleson Research Technologies, Morrisville, NC
---	-------------------	---

Regulatory Concerns for Developmental Immunotoxicology	Kenneth L. Hastings	FDA, USA
--	---------------------	----------

ワークショップ

日本免疫毒性評価の問題点と対策	オーガ ナーザ —	澤田純一 牧栄二	国立医薬品食品衛生研究所 財団法人食品農薬品安全性評価センター
-----------------	--------------	-------------	------------------------------------

サルの免疫系の病理検査における留意点	前田博	(株)新日本科学 東京病理センター
--------------------	-----	-------------------

サルの免疫機能検査の実施例の紹介と留意点	岡村隆之, 原田英樹, 大西康之	株式会社三菱化学安全科学研究所 鹿島研究所 安全性第1研究部
----------------------	------------------	-----------------------------------

TGN1412の開発段階での安全性評価の問題点	小林潔	アムジェン株式会社
抗体医薬の安全性評価における留意点	井上智彰	中外製薬(株) 富士御殿場研究所安全性研究部
一般演題(口頭発表)		
レポーター抗原へのマウス膝窩リンパ節反応を用いた薬物の免疫刺激作用の評価	伊藤志保(1), 間哲生(1), Gutting Bradford Wesley (2), 河井良太(1), 真鍋淳(1), 古川忠司(1)	(1) 第一三共株式会社安全性研究所, (2) Naval Surface Warfare Center, Dahlgren
トルエン曝露によるマウス海馬における記憶関連遺伝子発現増強へのT細胞の役割	ウィンシュイティンティン, 山元昭二, 藤巻秀和	国立環境研究所 環境リスク研究センター
ライフスタイルによるNKT細胞への影響	李卿(1), 森本兼曩(2), 川田智之(1)	(1)日本医科大学衛生学公衆衛生学, (2)大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座・医学部環境医学教室
2カ月間のフッ素飲料水中投与によるラットの免疫に関する検討: 脾臓細胞のサイトカイン産生評価	角田正史(1), 木村幸子(1,2), 辻雅善(1,3), 張瑩(1), 菅谷ちえ美(1), 井上葉子(1), 工藤雄一朗(1), 佐藤敏彦(1), 片桐裕史(4), 板井一好(5), 小西良子(6), 相澤好治(1)	(1)北里大学医学部 衛生学公衆衛生学, (2)神奈川県環境農政部県中央家畜保健衛生所, (3)目白大学短期大学部, (4)北里大学医療衛生学部公衆衛生学, (5)岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学, (6)国立医薬品・食品衛生研究所衛生微生物部
ニジマスの免疫細胞中におけるシトクロムP450-1A (CYP1A) の局在性を中心としたベンゾピレンの免疫毒性の解析	中山彩子 (1,4), リーゼンイファン (1), エッペラーエリザベス (2), ケルナーベアント (3), 川合真一郎(4), ゼグナーヘルムート (1)	(1)ベルン大学Centre for Fish and Wildlife Health, (2)チューリッヒ大学医学部解剖学研究科, (3)フリードリッヒルッフルーインスティテュート感染学研究室, (4)神戸女学院大学 環境・バイオサイエンス学科
ディーゼル排気微粒子がアレルギー性気道炎症モデルに及ぼす影響に関するGeneChipを用いた遺伝子発現解析	柳澤利枝(1), 高野裕久(1), 水島かつら(2), 井上健一郎(1), 小池英子(1), 市瀬孝道(3), 定金香里(3), 吉川敏一(2)	(1)独立行政法人国立環境研究所, (2)京都府立医科大学, (3)大分県立看護科学大学
母動物への臭素化難燃剤HBCDの周産期暴露の仔ラット免疫系への影響	中村亮介(1,2), 手島玲子(1), 蜂須賀暁子(1), 中村里香(1), 澤田純一(1), 渋谷淳(2)	(1)国立衛研機能生化学部, (2)東京農工大共生科学技術
エチニルエストラジオールを用いたマウスにおける経胎盤・経乳汁暴露による出生仔の免疫系への影響	宮浦英樹, 武吉正博	財団法人化学物質評価研究機構安全性評価技術研究所
化合物の2週間投与によりT細胞依存性抗原に対するIgG抗体産生能を評価する試験法の検討	福井元子, 柴田誠司, 久田茂	あすか製薬株式会社 安全性研究部
アスベスト曝露ヒトポリクローナルT細胞株における抗炎症性サイトカインIL10およびTGF-β1の産生誘導	前田恵(1), 三浦由恵(2), 西村泰光(1), 村上周子(1), 林宏明(1), 中野孝司(3), 大槻剛巳(1)	(1)川崎医科大学衛生学, (2)ネブラスカ大学メディカルセンターエイプレイ癌研究所, (3)兵庫医科大学呼吸器科

唾液中クロモグラニンAを指標とした「笑い」の効果の検証	戸田雅裕, 森本兼曩	大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座
LLNA法を用いた金属類の皮膚感作性試験における溶媒の影響	福山朋季, 上田英夫, 林宏一, 田島由香里, 配島淳子, 藤江秀彰, 林豊, 首藤康文, 小坂忠司, 原田孝則	財団法人残留農薬研究所毒性部
ナノ粒子が呼吸器疾患に与える相乗影響	井上健一郎(1), 高野裕久(1,2), 柳澤利枝(1), 桜井美穂(1), 市瀬孝道(3), 定金香里(3), 吉川敏一(2)	(1)独立行政法人国立環境研究所環境健康研究領域, (2)京都府立医科大学学生体機能制御学, (3)大分県立看護科学大学
インドメタシンを妊娠後期のラットに投与した際の出生児のサイトカイン産生に対する影響	串間清司, 小田桂香, 佐久間庄三, 藤原道夫	アステラス製薬株式会社安全性研究所
化学物質により惹起されるアレルギー反応検出法の検討	福山朋季, 田島由香里, 上田英夫, 林宏一, 配島淳子, 藤江秀彰, 林豊, 首藤康文, 小坂忠司, 原田孝則	財団法人残留農薬研究所毒性部
経口感作および経口惹起によるマウスの食物アレルギーモデル (6)	新藤智子(1), 金澤由基子(1), 古谷真美(1), 田面喜之(1), 小島幸一(1), 手島玲子(2)	(1)食品薬品安全センター秦野研究所, (2)国立医薬品食品衛生研究所
勝敗体験がもたらすストレス反応の唾液情報論的評価	長谷川雅子, 戸田雅裕, 森本兼曩	大阪大学医学部医学系研究科社会環境医学講座環境医学
男子大学生における唾液中クロモグラニンAの日内変動とストレス反応	田麗, 戸田雅裕, 森本兼曩	大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座環境医学
石綿長期曝露後ヒトNK細胞株のシグナル伝達および悪性中皮腫患者NK細胞の細胞傷害性の解析	西村泰光(1), 前田恵(1), 村上周子(1), 林宏明(1), 三浦由恵(2), 福岡和也(3), 中野孝司(3), 大槻剛巳(1)	(1)川崎医科大学衛生学, (2)ネブラスカ大学メディカルセンターエプレイ癌研究所, (3)兵庫医科大学呼吸器RCU科
マウスにおけるストレス負荷が免疫系へ及ぼす影響について	林宏一(1), 小坂忠司(1), 福山朋季(1), 田島由香里(1), 上田英夫(1), 山口悟(1), 武田眞記夫(1), 小嶋五百合(1), 首藤康文(1), 北澤利明(1), 牧伸一(1), 木村修一郎(2), 原田孝則(1)	(1)財団法人残留農薬研究所, (2)井藤漢方製薬株式会社
抗体マイクロアレイによるカドミウム誘導サイトカインプロファイルの解析	大沢基保, 高橋和子	帝京大学薬学部衛生薬学講座
In vivo および In vitro の IgE 依存的なアレルギー反応に対する BHT (ブチルヒドロキシトルエン) の促進作用 一般演題 (ポスター発表)	八巻耕也, 吉野伸	神戸薬科大学薬理学研究室

Methotrexateの2週間間歇投与によるラット免疫毒性評価	河井良太, 間哲生, 伊藤志保, 小松里美, 瀬畑信哉, 村松敦子, 古川忠司, 真鍋淳	第一三共(株)安全性研究所
ディーゼル排気微粒子の反復経気道曝露がアトピーマウスへ与える影響	井上健一郎(1), 高野裕久(1,4), 柳澤利枝(1), 市瀬孝道(2), 島田章則(3), 吉川敏一(4)	(1)独立行政法人国立環境研究所, (2)大分県立看護科学大, (3)鳥取大農学部獣医病理学, (4)京都府立医科大学生体機能制御学
各種ナノ物質およびアスベストによる細胞のサイトカイン産生誘導	高原和彦(1), 池田武史(1), 水野耕平(2), 内田邦夫(2), 山本和弘(2), 川崎一(2), 稲葉カヨ(1)	(1)京都大学生命科学研究科生体応答, (2)産業技術総合研究所
マウス胎仔期および新生仔期における低濃度トルエン曝露とペプチドグリカン刺激が全身性のTh1/Th2免疫バランスに及ぼす影響	山元昭二, 福島篤, ウィンシュイティンティン, 北條理恵子, 藤巻秀和	国立環境研究所環境リスク研究センター
カーボンブラックナノ粒子の曝露がマウス骨髄由来樹状細胞の分化と機能に及ぼす影響	小池英子(1), 高野裕久(1), 井上健一郎(1), 柳澤利枝(1), 小林隆弘(2)	(1)国立環境研究所環境健康研究領域, (2)東京工業大学統合研究院
ナノサイズの二酸化チタン(TiO ₂)がバリア機能の破綻を想定した皮膚炎モデルに及ぼす影響	蒲池知子(1,2), 高野裕久(2,4), 柳澤利枝(2), 井上健一郎(2), 小池英子(2), 市瀬孝道(3), 定金香里(3), 吉川敏一(4)	(1)筑波大学大学院環境科学研究科, (2)独立行政法人国立環境研究所, (3)大分県立看護科学大学, (4)京都府立医科大学
グルココルチコイドによる血糖上昇に関する遺伝子発現解析	浜野宝子, 清水俊敦, 筒井尚久	三菱ウエルファーマ創薬研究本部安全性研究所
カルシトニン遺伝子関連ペプチドを介した神経系と免疫系のクロストーク	辻川和丈, 扇谷祐輔, 大谷一平, 平山恵美, 渡辺桂子, 山元弘	大阪大学大学院薬学研究科細胞生理学分野
珪肺症例末梢血CD4+25+分画における慢性活性化T細胞の混入とFas分子発現	林宏明(1), 三浦由恵(2), 前田恵(1), 村上周子(1), 西村泰光(1), 草加勝康(3), 大槻剛巳(1)	(1)川崎医科大学衛生学, (2)ネブラスカ大学エブレイ癌研究所, (3)草加病院
電磁場曝露によるラットアストロサイトへの遺伝毒性の検討-免疫毒性への応用を目指して-	宮越雄一, 清水英佑, 柳澤裕之	東京慈恵会医科大学環境保健医学講座
食物アレルギー(オボムコイド)のマウス経口感作への油脂の影響について	手島玲子, 奥貫晴代, 中村亮介, 佐藤雄嗣, 穂山浩, 澤田純一	国立医薬品食品衛生研究所
BALB/cマウスを用いた経口投与による光毒性評価に関する検討	宇都宮慎治, 高橋義博, 田中康浩, 熊野かおり, 中村隆広, 和泉博之, 戸門洋志	株式会社新日本科学安全性研究所
有機スズの化学構造の違いによる細胞死誘導機構の解析	富山健一, 栗山孝雄, 山口明子, 佐山友里江, 越前谷容子, 中田恵, 渡邊奈美, 荒川泰昭	静岡県立大学生体健康科学研究科生体衛生学研究室

金属化合物によるインターロイキン-6とメタロチオネインの誘導 姫野誠一郎(1), 藤代瞳(1), 干佳明(1), 小林一男(2), 長谷川達也(3), 瀬子義幸(3) (1)徳島文理大学薬学部, (2)キッセイ薬品工業(株)安全性研究所, (3)山梨県環境科学研究所

抗II型コラーゲンモノクローナル抗体による自己免疫性関節炎モデルの作製 齋藤貴之, 八巻耕也, 吉野伸 神戸薬科大学 薬理学研究室

ランチョンセミナー1

Applications for cell based assays in biopharmaceutical development - from batch release & stability to assessment of neutralising antibodies Wing Mark Huntingdon Life Sciences Ltd., Immunology and Cell Biology

ランチョンセミナー 2

免疫トキシコゲノミクス Jacob Lawrence Charles River Laboratories Preclinical Services Edinburgh, Edinburgh, Scotland, UK